

# 「大城小学校の米づくり伝承活動の取組」

## 1 学校名

和泊町立大城小学校

## 2 学年・人数

小学1年生から6年生（計46人）

## 3 日時・場所

### (1) 活動の日時・場所

3・4年生：総合的な学習の時間（体験活動：30，探求活動20，計50時間）

2月上旬 種まき・育苗

2月中旬 代かき（3・4年）

2月27日 田植え（全学年）

7月23日 稲刈り（全学年）

脱穀（3・4年）（脱穀後冷蔵保存）

10月中旬から 精米（3・4年）

11月5日 餅つき（全学年）

11月下旬 もち米販売準備（3・4年）

12月1日 もち米販売（3・4年）

### (2) 発表の日時・場所

12月1日に，創立記念学習発表会で発表（大城小学校体育館）

※ 令和2年度は，学習発表会を時間短縮・規模縮小のため，もち米販売のみ実施

## 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

### (1) 名称

復活，わたしたちの美田（うました）

### (2) 由来

校歌に「美田（うました）下に見下ろして」とあるように，かつては米づくりが盛んだった大城小学校区。減反政策により沖永良部から水田が姿を消す中，子供たちに昔の米づくりを経験させたいとの地域・教員の願いから昭和60年に学校横に水田を復活させ，以来毎年米づくりを行っています。

## 5 保存会や地域との連携の具体

活動はPTAを中心に，PTAのOBで組織する準会員の方々の協力を得ながら進めています。技術的な面では，沖永良部事務所農業普及課の方に指導していただき，これまでの資料を活用・改善しながら取り組んできました。また，餅つきでは，餅のつき方や丸め方の指導など，準会員の方々に協力をいただいています。

## 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

これまで5・6年生中心で行っていた米づくりを，探求的な学習活動の時間を確保するために3・4年生の総合的な学習の時間に位置付け，全学年で体験活動ができるようにしています。また，学校のキャッチフレーズ「祖先の知恵を受け継ぐ大城小」の具現化を期して，餅つき大会には地域の長寿会を招待し交流活動を行っています。

## 7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



【全校での田植え】



【稲刈り】



【脱穀作業】



【餅つき大会】

## 8 参加児童・保護者・保存会・教員等の感想・意見

### 【3年生児童】

おじいちゃんの田んぼで田植えをしたことはありましたが、自分たちで最後まで米を作ったのは初めてでした。稲をタニシに食べられて心配しましたが、最後はたくさんのお米ができてよかったです。とれた米でお餅つきをして食べましたが、いつもよりおいしく感じました。

### 【PTAから】

初めて稲刈りや脱穀に参加しました。子供たちが真剣に稲を刈る様子や興味深げに足踏み脱穀機で脱穀する様子を見ながら、本当によい体験活動だと感じました。また、多くの保護者の方が積極的に活動に取り組んでいらっしゃる様子を見て、この伝統的な活動を次の子供たちにも体験させたいと思いました。

### 【教職員】

「祖先の知恵を受け継ぐ大城小」のキャッチフレーズの下、昔ながらの米づくり体験を通じて、郷土の先人の知恵や苦労を学ぶ貴重な体験活動として、米づくりに取り組んでいます。また、米づくりを通して、沖永良部の農業の変遷についても学ぶ機会となっています。今後は、学校運営協議会を中心に、地域との連携を図りながら、この伝統的な活動を継続していく方法を考えていきたいと思えます。